

## 雲南市立木次中学校 心に残る文化財子ども塾

### 1. 活動の概要

5月29日(木)、雲南市立木次中学校で心に残る文化財子ども塾「ふるさと木次の歴史と和同開珎鑄造体験」をおこないました。1年生 71 名、2年生 76 名、合計 147 名が、クイズや鑄造体験を通じ、郷土の歴史や遺跡について学びました。

座学では「木次中学校ミリオネア」と題したクイズをおこない、問題に各自が回答しながら郷土の歴史や古代遺跡について学びます。学校や家の周りにたくさんの遺跡があること、奈良時代には木次が大原郡の中心地として栄え、寺や役所があったこと、など、初めて聞く事実に生徒達はとても驚いた様子でした。クイズは全部で9問あり、とても盛り上がりました。

また、雲南市内から発掘調査でみつかった本物の土器や勾玉、金色の耳環を市教育委員会からお借りして教室に並べ、さわったり間近から観察したりしました。

体験活動では古代のお金について学習し、その後、低融点金属を使用して和同開珎の鑄造体験をおこないました。鍋の中で熱する著金属が溶けていく様子に歓声があがります。鑄型から取り出した枝銭を、ひとつずつの銭に切り離し、丁寧に研磨して完成です。失敗して割れてしまう場面も見られましたが、全員が1つずつ、自分だけの和同開珎を記念品として仕上げました。

### 2. 活動の様子



▲ 早押しクイズに手があがります



▲ 出土した本物の土器をさわって感激！



▲ ヤケドに注意しながら、金属を流し込みます



▲ 割れないように、慎重に



▲ 完成！ 失敗体験を通じて、古代の技術の高さを体感しました

### 3. 子ども塾を終えて

#### 【生徒の感想】

- ・奈良時代には木次が大原郡の中心だったなんて知らなくて、驚きました。誇りを持ちたいと思います。
- ・金属が溶ける瞬間がおもしろかった。お金を作るのってたいへんだと思った。
- ・本物の土器にさわって嬉しかった。
- ・木次に 180 も遺跡があって、家の近くにもあるとは知らなかった。
- ・クイズ形式でおもしろかった。

#### 【学校の先生から】

- ・座学は、木次町の歴史がクイズ形式でわかりやすく、私も知らないことがいくつもあり、勉強になりました。地域に対する思いが強くなったようです。
- ・体験は生徒達にとって新鮮で、古代の人々の生活に思いを巡らせることができたと思います。
- ・後日、座学用のパワポを使って 3 年生に授業をしました。大好評でした。